

MIYU
2027

Public University Corporation MIYAGI UNIVERSITY

令和 9 年度入学

入学者選抜要項



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

目 次

令和 9 年度入学者選抜について……………	1
インターネット出願について……………	1
宮城大学からの最新情報について……………	1
I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）……………	2
II 入学者選抜の概要	
1 入学定員と募集人員……………	6
2 選抜日程等……………	6
3 選抜方法の概要……………	7
4 試験会場……………	9
5 学類配属について……………	9
III 一般選抜……………	10
IV 総合型選抜……………	15
V 学校推薦型選抜……………	16
VI 帰国生徒選抜……………	19
VII 社会人選抜……………	20
VIII 私費外国人留学生入試……………	21
IX 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談……………	23
X 入学資格審査……………	23
XI 入試過去問題活用宣言について……………	23
XII 大学案内の請求方法……………	24
XIII 各キャンパスの交通案内……………	26
XIV 令和 10 年度入学者選抜の変更（予告）……………	27

アドミッション・ポリシー	令和 9 年度入学者選抜について	
	概要	
アドミッション・ポリシー	社会情勢等によりやむを得ず、選抜方法や選抜日程に変更等が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。	
	https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/	
アドミッション・ポリシー	一般選抜	
	インターネット出願について	
アドミッション・ポリシー	(1) 概要	
	本学への出願は、インターネット出願により行います。全ての学群入試において、インターネット上で必要項目を入力・登録・支払を行った後に必要書類を郵送していただきます。	
アドミッション・ポリシー	(2) 注意事項	
	募集要項は、各選抜区分、出願開始の約 2 か月前に本学ウェブサイトにて公表します。	
アドミッション・ポリシー	宮城大学からの最新情報について	
	宮城大学の最新情報や大事なお知らせをスマートフォンやパソコンに「プッシュ通知」でお知らせしています。是非ご活用ください。	
アドミッション・ポリシー	https://myu-nyushi-kouhou.pushappuniv.com/	
	私費外国人留学生入試	
アドミッション・ポリシー	事前相談	
	大学案内の請求方法	
アドミッション・ポリシー	交通案内	
	令和10年度入学者選抜の変更(予告)	

アドミッション・ポリシー	I 宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	
	宮城大学	
アドミッション・ポリシー	【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】	
	宮城大学は、地域社会の発展に主体的に貢献できる資質と能力を持った人間性豊かな人材育成を目指しています。このような人材は、高い人間力を備え、広く深く学び続ける力を基盤として、専門的な知識や技能を身につけ、将来にわたって地域社会の進歩に柔軟に対応し、それに貢献できる能力を備えた人材であると考えています。	
アドミッション・ポリシー	【入学者に求める能力は何か】	
	宮城大学が教育目標で掲げる人材を育成するためには、高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の内容をしっかりと身につけていることが望まれます。特に、本学は科学技術による実社会への貢献を目指した「高度な実学」を理念として掲げていますので、理数科目の積極的な習得が望まれます。また、「グローバルな視点」を持つという理念も掲げていますので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力の習得が望まれます。	
アドミッション・ポリシー	【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】	
	宮城大学が求める学生を選抜するため、学群・学類ごとに選抜試験を実施します。詳細は各学群のアドミッション・ポリシーを参照してください。	
アドミッション・ポリシー	看護学群	
	【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】	
アドミッション・ポリシー	看護学群は、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考とマネジメント能力を持ち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域の人々、多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。	
	このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。	
アドミッション・ポリシー	(1) 人間に対する深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力	
	(2) 人間の生命と活動に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する科学的思考力	
アドミッション・ポリシー	(3) 対象者のニーズに即したケアを創造的に実践する創造的実践力	
	(4) 人と組織の中で、主体的にヘルスケアシステムを形成する基礎的なマネジメント能力	
アドミッション・ポリシー	(5) 関連分野と協働し、国内外の保健医療福祉の課題に貢献できる基礎的な学際性・国際性	
	【入学者に求める能力は何か】	
アドミッション・ポリシー	看護学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。	
	(1) 人や地域社会、看護に関心を持っている人	
アドミッション・ポリシー	(2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人	
	(3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人	
アドミッション・ポリシー	(4) 国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人	
	【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】	
アドミッション・ポリシー	看護学群の選抜試験では、以下の評価を行います。	
	(1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、教科・科目に係る個別テストの外国語、論説(※1)、面接(※2)の試験により、志望分野に必要な学力や資質、主体性等を評価します。	
アドミッション・ポリシー	(2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接(※3)によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。	
	令和10年度入学者選抜の変更(予告)	

アドミッション・ポリシー		
概要		(3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類による第1次選考、面接（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
		(4) 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。
一般選抜		
総合型選抜		
学校推薦型選抜		
帰国生徒選抜		
社会人選抜		
私費外国人留学生入試		
事前相談		
大学案内の請求方法		
交通案内		

事業構想学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- 社会の中で他者を理解し、社会の発展に主体的に貢献する自立した人間として必要な総合力
- 人間や社会に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する能力
- 学群に共通する基礎的な知識・技術と専攻した学類の専門知識・技術
- 地域社会や企業での体験や協働を通じ、自ら課題を発見し、主体的に行動する実践力
- 地域や世界の歴史、文化を学ぶとともに、交流・協働を通して地域やグローバルで活動する能力

【入学者に求める能力は何か】

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって、具体的な行動をとまって地域社会の課題を主体的に解決し、貢献することを目指す人
- 事業構想（プロジェクト・デザイン）の分野でイノベーションをデザインすることにより、来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<事業プランニング学類>

新たな発想に基づき、実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

<地域創生学類>

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち、その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに、地域活性化を目指すまちづくりや産業育成、それを動かす人・組織のデザイン、そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

<価値創造デザイン学類>

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

事業構想学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- 一般選抜では、大学入学共通テストの5教科6科目で高等学校までの学習成果を問うほか、教科・科目に係る個別テストの外国語、数学、論説（※1）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。
- 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの5教科6科目で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類による第1次選考、面接（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

食産業学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

食産業学群では、食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- 食産業に関する幅広い専門的知識と技術
- 地域社会から世界レベルまで様々なレベルでの食に関する課題発見力
- 食に関する課題解決の実践力
- 課題解決法の世界への発信力

【入学者に求める能力は何か】

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
- 論理的に考える力を修得し、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
- 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<生物生産学類>

生物資源開発や生産環境技術、経営を通して、持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち、食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

<フードマネジメント学類>

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

アドミッション・ポリシー		
概要		
一般選抜		
総合型選抜		
学校推薦型選抜		
帰国生徒選抜		
社会人選抜		
私費外国人留学生入試		
事前相談		
大学案内の請求方法		
交通案内		

令和10年度
入学者選抜の
変更予告

アドミッション・ポリシー		
概要	【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】 食産業学群の選抜試験では、以下の評価を行います。 (1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目で高等学校までの学習成果を問うほか、教科・科目に係る個別テストの外国語、ペーパーインタビュー（※5）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。 (2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。 (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類による第1次選考、面接（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。 (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。	
一般選抜		
総合型選抜		
学校推薦型選抜	※1 論説では、記述式の試験により、事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く力等を多角的に評価します。	
帰国生徒選抜	※2 看護学群一般選抜の面接では、看護職を志す意欲、看護職の基礎的な適性である人に対する態度や社会性、コミュニケーション能力などを評価します。	
社会人選抜	※3 学校推薦型選抜の面接では、主に以下の能力を評価します。 ・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質	
私費外国人留学生入試	※4 総合型選抜の面接では、主に以下の能力を評価します。 ・高等学校までの基礎的な学習成果 ・高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質	
事前相談	※5 ペーパーインタビューは、面接に代わり、受験者が筆記形式で紙面の質問に回答する試験で、学群における学修への意欲や資質、思考力、表現力を評価します。	
大学案内の請求方法		
交通案内		

II 入学者選抜の概要

1 入学定員と募集人員

		入学定員	募集人員						
			学群単位での入試					学類単位での入試	
			一般選抜		学校推薦型選抜	帰国生徒選抜	社会人選抜	総合型選抜	私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程					
看護学群	看護学類	95	48	10	27	若干名	若干名	5	5
事業構想学群	事業プランニング学類	200	100	20	40	若干名	若干名	8	5
	地域創生学類							8	5
	価値創造デザイン学類							8	6
食産業学群	生物生産学類	125	62	12	28	若干名	若干名	8	3
	フードマネジメント学類							8	4
計		420	210	42	95	若干名	若干名	45	28

※「帰国生徒」「社会人」の若干名は、「一般選抜」の募集人員に含まます。

2 選抜日程等

種 別		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
総合型選抜		令和8年9月1日（火） ～ 令和8年9月8日（火） 【期間内必着】	第1次選考 （書類審査のみ） 第2次選考 令和8年10月17日（土）	第1次選考 令和8年9月30日（水） 第2次選考 令和8年11月2日（月）	令和8年11月4日（水） ～ 令和8年11月11日（水）
帰国生徒選抜		令和8年11月18日（水） ～ 令和8年11月25日（水） 【期間内必着】	令和8年12月19日（土）	令和9年1月8日（金）	令和9年1月12日（火） ～ 令和9年1月19日（火）
社会人選抜					
私費外国人留学生入試				令和9年2月9日（火）	令和9年2月10日（水） ～ 令和9年2月17日（水）
学校推薦型選抜					
一 般 選 抜	前期 日程	令和9年1月25日（月） ～ 令和9年2月3日（水） 【期間内必着】	<看護学群> 令和9年2月25日（木） 令和9年2月26日（金） <事業構想学群・食産業学群> 令和9年2月25日（木）	令和9年3月6日（土）	令和9年3月7日（日） ～ 令和9年3月15日（月）
	後期 日程		<看護学群> 令和9年3月12日（金） 令和9年3月13日（土） <事業構想学群・食産業学群> 令和9年3月12日（金）		

アドミッション・ポリシー		
概要		
一般選抜		
総合型選抜		
学校推薦型選抜		
帰国生徒選抜		
社会人選抜		
私費外国人留学生入試		
事前相談		
大学案内の請求方法		
交通案内		

3 選抜方法の概要

(1) 一般選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群名	大学入学 共通テスト を課する	教科・科目 に係る個別 テストを課 する	主体性等の 評価 (※1)	実技検査等				2 段階選抜			備考 [欠員の 補充の 方法等]
				実技検査 を課する	面接を 行う	論説 (※2) を課する	ペーパーイ ンタビュー を (※3) を 課する	主として、調 査書の内容と 大学入学共通 テストの成績 により第1段 階選抜を行 い、その合格 者について更 に必要な検査 等を行う	第1段階の選抜に よる合格者数		
看護学群	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	追加合格
事業構想学群	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	
食産業学群	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	

- ※1 主体性等の評価については、看護学群では「面接」により評価します。事業構想学群、食産業学群では「活動実績報告書」により評価します。
- ※2 論説：「事象を論理的に考察する力」や「資料をもとに科学的に読み解く力」等を多角的に評価する、記述式の試験です。
- ※3 ペーパーインタビュー：学群における学修への意欲や資質、思考力、表現力を評価する、記述式の試験です。

(2) 総合型選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群・学類名		大学入学共通テスト を課する	教科・科目に係る個 別テストを課する	第1次選考	第2次選考	
				出願書類、 調査書を評価する	面接を行う	実技を課する
看護学群	看護学類	×	×	○	○	×
事業構想学群	事業 プランニング学類	×	×	○	○	×
	地域創生学類	×	×	○	○	×
	価値創造 デザイン学類	×	×	○	○	×
食産業学群	生物生産学類	×	×	○	○	×
	フード マネジメント学類	×	×	○	○	×

(3) 学校推薦型選抜

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群名	大学入学共通 テストを課する	教科・科目に係る 個別テストを課する	実技検査等	
			実技検査を課する	面接を行う
看護学群	○	×	×	○
事業構想学群	○	×	×	○
食産業学群	○	×	×	○

(4) 帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生入試

○印は実施するもの、×印は実施しないもの又は該当しないもの。

選抜方法等 学群・学類名		私費外国人留学生			中国引揚 等子女	帰国生徒・社会人		
		選抜の実施	面接を行う	本学が指定する資格・検定試験の公式スコアの活用	選抜の実施	選抜の実施	面接を行う	本学が指定する資格・検定試験の公式スコアの活用
看護学群 看護学類		○	○	○	×	○	○	○
事業構想学群	事業 プランニング学類	○	○	○	×	○	○	○
	地域創生学類	○	○	○	×			
	価値創造 デザイン学類	○	○	○	×			
食産業学群	生物生産学類	○	○	○	×	○	○	○
	フード マネジメント学類	○	○	○	×			

4 試験会場

本学の入学者選抜試験は、下記のいずれかの会場で実施することを予定しています。
[大和キャンパス]
宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1
[太白キャンパス]
宮城県仙台市太白区旗立二丁目 2 番 1 号

※志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更する場合もありますので、試験会場については必ず、各選抜の募集要項及びインターネット出願サイトからダウンロード可能になる受験票にて確認してください。

5 学類配属について

入学者選抜試験は、種別に応じ学群単位又は学類単位で行います。
試験の種別によって学類配属の決定時期が異なりますので、次の表で確認してください。

試験の種別	試験の単位	学類配属の決定時期
一般選抜 学校推薦型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	学群単位	2 年次進級時に学類の配属を決定 ^(※)
総合型選抜 私費外国人留学生入試	学類単位	入学時に学類の配属を決定

学類配属については、大学案内パンフレット 2027 等をご覧ください。
(※看護学群は単一学類のため、入学後の学類選択は行いません。)

Ⅲ 一般選抜

本学の一般選抜は、分離分割方式（前期日程・後期日程）により行います。前期日程の学群から 1 学群、後期日程の学群から 1 学群、合計 2 学群又は同一の学群に出願することができます。
なお、本学の前期日程と他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以降同じ。)の前期日程、本学の後期日程と他の国公立大学の後期日程の併願はできません。

1 出願資格

本学に入学を志願する者は、次のいずれかに該当し、かつ令和 9 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、各学群の指定する教科・科目をすべて受験した者としてします。
(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月に卒業見込みの者
(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月に修了見込みの者
(3) 学校教育法施行規則第 150 条（第 6 号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
出願資格（3）について、第 4 号の規定による General Certificate of Education Advanced Level 資格又は International General Certificate of Education Advanced Level 資格については、3 科目以上（指定科目なし）の合格（E 評価以上）が必要です。また、第 7 号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります（23 ページ「X 入学資格審査」を参照。）。

2 出願期間

令和 9 年 1 月 2 5 日（月）から令和 9 年 2 月 3 日（水）まで【期間内必着】

3 入学者選抜方法

(1) 教科・科目に係る個別テスト等の期日・時間割（予定）

【1 日目】		看護学群	事業構想学群	食産業学群
前期： 令和 9 年 2 月 2 5 日（木）	10:00 ～ 11:00	外国語		
	11:50 ～ 12:50	論説		
	14:40 ～ 15:40		数学	
後期： 令和 9 年 3 月 1 2 日（金）	10:00 ～ 11:00	外国語	外国語又は 数学 ※いずれか 1 教科を選択	ペーパー インタビュー

【2 日目】（看護学群のみ）		看護学群
前期： 令和 9 年 2 月 2 6 日（金） 後期： 令和 9 年 3 月 1 3 日（土）	9:45 ～	面接 （受験番号順）

(2) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の利用教科・科目と配点

学群・学類名 及び入学定員等		大学入学共通テスト		教科・科目に係る個別テスト			大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点														
学群	学類	教科	科目及び選択方法	教科等	実施日程・出題範囲等	検査 時間	試験の区分		国語	数学	外国語 (英語)	地理 歴史	公民	理科	情報	論説	面接	ペー バーイ ンタ ビュー	主体性 等評価		
看護 前期 48人 後期 10人	看護	国語	『国語』必須	外国語	【前期・後期】 「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	200	250	100		200	100	－	－	－	－		
		数学	『数学Ⅰ、数学A』必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の 曲線と複素数平面（数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																		
			『英語（リスニングを含む。）』必須																		
		外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須	論説	【前期のみ】 事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み 解く力等を多角的に評価する。	60分	後期	大学入学 共通テスト	100	100	125	50		100	50	－	－	－	－		
		地理歴史 公民	次の（1）又は（2）のいずれか （1）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか2出題範囲を選択 かつ『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 （2）『物理』『化学』『生物』から2科目を選択 ・基礎を付した出題範囲と基礎を付していない科目について、同一名称を含むもの同士の選択を認めます。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から 2出題範囲を選択解答してください。																		
		理科	『情報Ⅰ』必須																		
		情報	〔6教科8科目〕											面接	評価						
事業構想 前期 100人 後期 20人	事業 プランニング 地域創生 価値創造 デザイン	国語	『国語』必須	外国語	【前期・後期（後期は外国語又は数学のいずれか1教科を選択）】 「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	200	200	300				－	－	－	－		
		数学	『数学Ⅰ、数学A』必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の 曲線と複素数平面（数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																		
			外国語						『英語（リスニングを含む。）』必須	数学	【前期・後期（後期は数学又は外国語のいずれか1教科を選択）】 「数学」 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B（数列、統計的な推測）」 「数学C（ベクトル）」から出題する。	60分	後期	大学入学 共通テスト	100	100	100	－	－	－	－
		地理歴史 公民 理科 情報	地理歴史・公民のうち、『地理総合／歴史総合／公共』において2出題範囲を選択、 又は『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目選択 理科のうち、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択、 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目選択 情報のうち、『情報Ⅰ』を選択 ・『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」から2出題範囲を選択解答してください。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」 から2出題範囲を選択解答してください。																		
			〔5教科6科目〕												面接	評価					
		食産業 前期 62人 後期 12人	生物生産 フード マネジメント	国語	『国語』必須	外国語	【前期のみ】 「英語」 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」 「論理・表現Ⅲ」から出題する。	60分	前期	大学入学 共通テスト	200	200	250	100		200	50	－	－	－	－
				数学	『数学Ⅰ、数学A』必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須 ・「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の 曲線と複素数平面（数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																
外国語	『英語（リスニングを含む。）』必須				ペーパー インタビュー						【後期のみ】 記述式	60分	後期	大学入学 共通テスト	200	200	250	100		200	50
地理歴史 公民	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、「地学基礎」を除くいずれか2出題範囲を選択、 又は『物理』『化学』『生物』から1科目を選択 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から 2出題範囲を選択解答してください。																				
理科	『情報Ⅰ』必須														面接	評価					
情報	〔6教科7科目〕																				

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和10年度入学者選抜の変更(予告)	

〔 大学入学共通テストの配点に係る注意事項 〕

- ① 看護学群

 - ・地理歴史・公民を 2 科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。
 - ・理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「地学基礎」を除く選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点として扱います。
 - ・リーディングとリスニングの配点比率を 4：1 とします。なお、受験上の配慮によりリスニングを免除された場合は、リーディングの得点を換算して算出します。
- ② 事業構想学群

 - ・地理歴史・公民、理科、情報において、1 科目の得点を 150 点に換算し、2 科目の合計を 300 点とします。なお、2 教科 2 科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い 2 教科 2 科目を採用します。
 - ・理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点として扱います。
 - ・地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点として扱います。
- ③ 食産業学群

 - ・地理歴史・公民を 2 科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。
 - ・理科において、1 科目の得点を 200 点に換算します。2 科目受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。なお、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「地学基礎」を除く選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点として扱います。
 - ・リーディングとリスニングの配点比率を 4：1 とします。なお、受験上の配慮によりリスニングを免除された場合は、リーディングの得点を換算して算出します。

〔 教科・科目に係る個別テストに係る注意事項 〕

- ・事業構想学群の後期日程では、試験当日に数学又は外国語を選択し受験します。

(3) 主体性等の評価

一般選抜における主体性等の評価は、看護学群では、面接で行います。
事業構想学群と食産業学群では、インターネット出願の際に 5 項目のチェックリストに回答していただき、インターネット出願システムから「活動実績報告書」を印刷、提出していただきます。記載内容の根拠は、調査書にて確認し、その他の追加資料（e ポートフォリオ等）を求めることはしません。

主体性等の評価方法

看護学群：面接（前期日程では 2 月 26 日、後期日程では 3 月 13 日に実施する） 事業構想学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する） 食産業学群：活動実績報告書（出願時に自己申告する）

「活動実績報告書」の内容

出願時に、以下の 5 項目のチェックリストを設け、出願者に自己申告していただきます。
出願者は以下の項目に関して自らの取組状況を振り返り、該当するかどうかを自己申告していただきます。

(1) 高校における学習活動に主体的に取り組んできた (2) 部活動・ボランティア活動等に主体的に取り組んできた (3) 生徒会・学校行事等に主体的に取り組んできた (4) その他の活動に主体的に取り組んできた (5) 高校で取得した資格、検定等、獲得した賞がある

- (1) には「総合的な探究の時間」等での探究活動を含みます。

記載内容の根拠の確認について

- ・調査書のいずれかの欄に 1 つでも該当する記述があれば、自己申告の根拠とします。
- ・調査書では「事実の記載があるかどうか」を根拠として確認します。記述の多寡は問いません。
- ・保存期間超過による廃棄等により出身学校の調査書が得られない者、高等学校卒業程度認定試験合格者等については、別途「活動実績報告書」の様式を設定し、具体的な取り組みについての自由記述を求めます。

(4) 合格者の決定方法

- ① 看護学群

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いる教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。また、面接の評価が一定の基準に満たない場合は、合格対象から除外されます。
- ② 事業構想学群

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語、数学及び論説の成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いる教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。なお、主体性等の評価は配点には含めず、合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、活動実績報告書による評価が高い志願者を優先的に合格とします。
- ③ 食産業学群

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、外国語及びペーパーインタビューの成績を基本として調査書等の内容を総合的に判定して行いますが、合否判定に用いる教科等において、得点のない教科等があった場合は合格者とはなりません。なお、主体性等の評価は配点には含めず、合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、活動実績報告書による評価が高い志願者を優先的に合格とします。

(5) 合格者の発表

前期日程・・・令和 9 年 3 月 6 日（土）

後期日程・・・令和 9 年 3 月 2 0 日（土）

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和10年度入学者選抜の変更(予告)	

Ⅳ 総合型選抜

実施学群・学類名	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業プランニング学類	地域創生学類	価値創造デザイン学類	生物生産学類	フードマネジメント学類
募集人員	5人	8人	8人	8人	8人	8人
出願資格	平成16年4月2日以後に出生し、かつ次の（1）から（3）までのいずれかに該当する者で、志望する学類に対し熱意と適性を有し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としします。 （1）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定に基づき高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 出願資格（3）について、第4号の規定によるGeneral Certificate of Education Advanced Level 資格又はInternational General Certificate of Education Advanced Level 資格については、3科目以上（指定科目なし）の合格（E評価以上）が必要です。また、第7号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります（23ページ「X入学資格審査」を参照。）。					
選抜方法等	第1次選考：調査書及び出願書類の内容を総合的に評価し、第2次選考の受験者を選抜します。 第2次選考：第1次選考の合格者に対し、面接を実施します。第1次選考及び面接の評価結果を総合的に判定し、合格者を決定します。					
出願期間	令和8年9月1日（火）～令和8年9月8日（火）【期間内必着】					
選抜期日	第1次選考：書類審査のみ 第2次選考：令和8年10月17日（土）					
合格発表日	第1次選考：令和8年 9月30日（水） 第2次選考：令和8年11月 2日（月）					
その他	○大学入学共通テストの受験 大学入学共通テストの受験は求めません。 ○併願について 本学の一般選抜や学校推薦型選抜との併願ができます。					

Ⅴ 学校推薦型選抜

実 施 学 群 名	看護学群	事業構想学群	食産業学群																
募 集 人 員	27 人	40 人	28 人																
出 願 資 格	令和 9 年度大学入学共通テストのうち指定する教科・科目をすべて受験し、次の（1）から（4）までのすべてに該当する者としします。 （1）高等学校又は中等教育学校を令和 9 年 3 月に卒業見込みの者 （2）志望する学群に対し、熱意と適性を有する者で、高等学校又は中等教育学校の長が責任を持って推薦できる者 （3）合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 （4）調査書の全体の評定平均値が、看護学群に入学を志願する者は 4.0 以上、事業構想学群又は食産業学群に入学を志願する者は 3.8 以上の者で、人物、学力とも特に優秀である者																		
選 抜 方 法 等	令和 9 年度大学入学共通テストにおいて、以下に指定する教科・科目をすべて受験した者で学群毎に大学入学共通テストの合計点、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定して行います。 ○大学入学共通テストの利用教科・科目 【看護学群・食産業学群】 <table><tr><td>教科</td><td>国語</td><td>地理歴史・公民</td><td>理科</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>情報</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>100 [※ 1]</td><td>100 [※ 2]</td><td>200</td><td>250 [※ 3]</td><td>100</td><td>950</td></tr></table> 国 語：『国語』必須 地理歴史・公民：『地理総合／歴史総合／公共』において 2 出題範囲を選択、 又は『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』から 1 科目を選択 理 科：『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において 2 出題範囲を選択、 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目を選択 数 学：『数学Ⅰ, 数学 A』必須 『数学Ⅱ, 数学 B, 数学 C』必須 [※ 4] 外国語：『英語（リスニングを含む。）』必須 情 報：『情報Ⅰ』必須 ※詳細は必ず募集要項をご確認ください。 [※ 1] 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点とみなします。地理歴史・公民を 2 科目（『地理総合／歴史総合／公共』（3 つの出題範囲から 2 つを選択解答）と、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答したものと同一名称を含まない 1 科目を受験した場合を含む。）受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。 [※ 2] 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した 2 つの出題範囲の合計点を 1 科目の得点とみなします。 理科を 2 科目（『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（4 つの出題範囲から 2 つを選択解答）と、基礎を付さない 1 科目を受験した場合を含む。）受験した場合は、得点の高い科目の成績を採用します。 [※ 3] リーディングとリスニングの配点比率を 4：1 とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。 [※ 4] 「数学 B」及び「数学 C」については、数列（数学 B）、統計的な推測（数学 B）、ベクトル（数学 C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学 C）の 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答してください。			教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	情報	合計	配点	200	100 [※ 1]	100 [※ 2]	200	250 [※ 3]	100	950
教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	情報	合計												
配点	200	100 [※ 1]	100 [※ 2]	200	250 [※ 3]	100	950												

アドミッション・ポリシー

概要

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

帰国生徒選抜

社会人選抜

私費外国人留学生入試

事前相談

大学案内の請求方法

交通案内

令和10年度入学者選抜の変更（予告）

選 抜 方 法 等	【事業構想学群】																		
	<table><tr><td>教科</td><td>国語</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>地理歴史</td><td>公民</td><td>理科</td><td>情報</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td colspan="4">300 〔※ 1〕〔※ 2〕〔※ 3〕</td><td>900</td></tr></table>	教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	合計	配点	200	200	200	300 〔※ 1〕〔※ 2〕〔※ 3〕				900
	教科	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	情報	合計										
	配点	200	200	200	300 〔※ 1〕〔※ 2〕〔※ 3〕				900										
	国 語：『国語』必須																		
	数 学：『数学Ⅰ，数学A』必須 『数学Ⅱ，数学B，数学C』必須 〔※ 4〕																		
	外国語：『英語（リスニングを含む。）』必須																		
	地理歴史・公民：『地理総合／歴史総合／公共』において2出題範囲を選択、 又は『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から1科目選択																		
	理 科：『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択、 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目選択																		
	情 報：『情報Ⅰ』を選択																		
※詳細は必ず募集要項をご確認ください。																			
〔※ 1〕 地理歴史・公民、理科、情報において、1科目の得点を150点に換算し、2科目の合計を300点とします。なお、2教科2科目以上を受験した場合は、指定された教科・科目のうち、得点の高い2教科2科目を採用します。																			
〔※ 2〕 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。																			
〔※ 3〕 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点として扱います。																			
〔※ 4〕 「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。																			
出 願 期 間	令和8年11月18日（水）～令和8年11月25日（水）【期間内必着】																		
選 抜 期 日	面接実施日：令和8年12月19日（土）																		
合 格 発 表 日	令和9年2月9日（火）																		
推 薦 人 数	【看護学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり1人とします。 ただし、衛生看護科又は看護科を有する学校については、宮城県内の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。 また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった者に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については1人まで加えることができるものとします。 この場合にあっても、当該廃止した高等学校が衛生看護科又は看護科を有する場合、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。																		

アドミッション・ポリシー	
概要	
一般選抜	
総合型選抜	
学校推薦型選抜	
帰国生徒選抜	
社会人選抜	
私費外国人留学生入試	
事前相談	
大学案内の請求方法	
交通案内	
令和10年度入学者選抜の変更（予告）	

推 薦 人 数	【事業構想学群・食産業学群】 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。 また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった者に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については各学群2人まで加えることができるものとします。
	○本学の一般選抜や総合型選抜との併願ができます。 ○本学以外の国公立大学の学校推薦型選抜との併願はできません。

Ⅵ 帰国生徒選抜

実施学群名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募集人員	若干名	若干名	若干名
出 願 資 格	日本国籍を有し、海外において外国の学校教育を受けている者のうち、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者としします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか１つの公式スコア（出願時点からおおむね２年前までに受験したものとする。）を提出できる者としします。 （１）外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和７年４月１日から令和９年３月３１日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 （２）外国の教育制度に基づく教育機関において、２年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校又は中等教育学校の最終学年に編入学を認められた者で、令和９年３月に卒業見込みの者 （３）平成２１年４月１日以前に出生し、次に掲げるもののうち、いずれか１つ以上を令和７年又は令和８年に外国において授与された者 ①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 ②ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 ③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 ④グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）証明書又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格証明書（３科目以上） ⑤欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格証書 （注）（１）及び（２）において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した期間は、海外において外国の学校教育を受けたものとはみなしません。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（１級－３級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※ TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。		
選 抜 方 法 等	面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和８年１１月１８日（水）～令和８年１１月２５日（水）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和８年１２月１９日（土）		
合 格 発 表 日	令和９年１月８日（金）		

Ⅶ 社会人選抜

実施学群名	看護学群	事業構想学群	食産業学群
募集人員	若干名	若干名	若干名
出 願 資 格	平成１６年４月１日以前に出生し、出願日において、社会人（家事従事者を含みます。）である者で、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者としします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか１つの公式スコア（出願時点からおおむね２年前までに受験したものとする。）を提出できる者としします。 なお、特に各学群のカリキュラムに関連の深い職業に従事している者、その経験を有する者又は本学卒業後これらの職業に従事しようとする者の出願を希望します。 （１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者 （２）通常の課程による １２年の学校教育を修了した者 （３）学校教育法施行規則第１５０条（第６号を除く。）の規定に基づき、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 出 願 資 格（３）について、第４号の規定による General Certificate of Education Advanced Level 資 格 又 は International General Certificate of Education Advanced Level 資格については、３科目以上（指定科目なし）の合格（E 評価以上）が必要です。また、第７号の規定により出願しようとする者は、事前に資格審査を受け、認定を受ける必要があります（23 ページ「X 入学資格審査」を参照。）。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（１級－３級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※ TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。		
選 抜 方 法 等	面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和８年１１月１８日（水）～令和８年１１月２５日（水）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和８年１２月１９日（土）		
合 格 発 表 日	令和９年１月８日（金）		

VIII 私費外国人留学生入試

実施学群・学類名	看護学群	事業構想学群			食産業学群	
	看護学類	事業 プランニング 学類	地域創生学類	価値創造 デザイン学類	生物生産学類	フード マネジメント 学類
募 集 人 員	5 人	5 人	5 人	6 人	3 人	4 人
出 願 資 格	独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2026 年度日本留学試験（第 1 回又は第 2 回）において、21 ページから 22 ページまでに記載の試験教科を受験している日本の国籍を有しない者で、次の（1）及び（2）のどちらにも該当する者としします。加えて、本学が指定する資格・検定試験のうち、いずれか 1 つの公式スコア（出願時点からおおむね 2 年前までに受験したものとする。）を提出できる者としします。 （1）次の①から③のうち、いずれかに該当する者 ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又は令和 9 年 3 月に修了見込みの者 ② 次に掲げる①に準ずる者として文部科学大臣が指定した者 Ⅰ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力を有することを認定する試験として認められる検定に合格し、平成 21 年（2009 年）4 月 1 日以前に出生した者 Ⅱ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者で（又はそれと同等以上の学力を有することを認定する試験として認められる検定に合格した者）、文部科学大臣が指定する大学進学のための準備教育課程を修了した者又は昭和 56 年文部省告示第 153 号の別表第一の上欄及び中欄の施設における研修並びに同表下欄の施設における大学進学のための準備教育課程を修了した者 ③ 次に掲げるもののうち、いずれか 1 つ以上を外国において授与された者 Ⅰ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格証書 Ⅱ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格証明書「一般的大学入学資格証明書」 Ⅲ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格証明書 Ⅳ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）証明書又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格証明書（3 科目以上） Ⅴ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格証書 （2）出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は本学入学により有することとなる者 （注）日本の国籍を有しない者であっても、日本の永住許可を得ている者は、出願できません。 【本学が指定する資格・検定試験】 出願にあたっては、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（1 級 - 3 級）、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く。）の公式スコアの提出を要します。 ※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。 ※ TOEIC 公開テストのスコア提出方法については募集要項をご確認ください。					
日本留学試験において受験を要する教科・科目（出題言語はすべての教科とも日本語とします）	看護学群	看護学類			○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（化学及び生物を受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）	

日本留学試験において受験を要する教科・科目（出題言語はすべての教科とも日本語とします）	事業構想学群	事業プランニング学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○総合科目 ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
		地域創生学類	
	食産業学群	価値創造デザイン学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（科目の指定はありません。2 科目を選択して受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
		生物生産学類	○日本語（読解、聴解・聴読解及び記述） ○理科（科目の指定はありません。2 科目を選択して受験してください。） ○数学（コースの指定はありません。コース 1 又はコース 2 のどちらかを選択して受験してください。）
選 抜 方 法 等	日本留学試験の成績、面接及び出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）の内容を総合的に判定して行います。		
出 願 期 間	令和 8 年 1 1 月 1 8 日（水）～令和 8 年 1 1 月 2 5 日（水）【期間内必着】		
選 抜 期 日	令和 8 年 1 2 月 1 9 日（土）		
合 格 発 表 日	令和 9 年 1 月 8 日（金）		

IX 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学では、障がい有する等、特別の配慮を要する方が、受験上及び修学上不利になることがないよう、必要な配慮を行っており、そのための事前相談を受け付けています。

1 相談方法

- ・志願者本人又は保護者から、受験上及び修学上配慮が必要な事項について相談してください。
- ・必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる保護者や出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。

2 事前相談期限

受験上の配慮については、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。なお、相談期限後に受験上及び修学上の配慮が必要となった場合にも、必ず、下記3の連絡先に問い合わせてください。

総合型選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和8年 7月31日（金）
帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生入試、学校推薦型選抜・・・・・・ 令和8年10月 9日（金）
一般選抜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 令和8年12月18日（金）

3 連絡先

〒981-3298
宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学 アドミッションセンター TEL：022-377-8333 / FAX：022-377-8282

X 入学資格審査

次の表の選抜試験への出願にあたり、学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願を希望する者は、下記の期間内に「宮城大学入学資格審査実施要項」に基づく資格審査を受け、認定を受ける必要があります。詳細は、宮城大学アドミッションセンター（022-377-8333）までお問い合わせください。

試験の種別	入学資格審査申請期間	審査結果の通知日
総合型選抜	令和8年7月10日（金）から 令和8年7月24日（金）まで	令和8年8月24日（月）まで
社会人選抜	令和8年8月19日（水）から 令和8年8月28日（金）まで	令和8年9月18日（金）まで
一般選抜		

XI 入試過去問題活用宣言について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しています。本学の入学試験問題について、本学のアドミッションポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を活用して出題することがあります。ただし、必ず活用するとは限りません。

詳細及び参加大学については入試過去問題活用宣言ホームページにて公表されています。入試過去問題を使用して出題した場合は、全日程終了後に本学ウェブサイト公表します。

XII 大学案内の請求方法

大学案内の請求方法や配布時期は、次のとおりです（料金や配布時期は変更になる可能性があります。）。

1 「テレメール」を利用して請求する

(1) 本学のウェブサイトから請求する場合

本学のウェブサイト（<https://www.myu.ac.jp/admissions/request/>）からテレメールを利用して直接資料請求ができます（料金後納。）。

(2) インターネットで請求する場合

① テレメールのウェブサイトアクセスしてください。

インターネット	https://telemail.jp	資料請求はこちら (資料請求番号の入力不要)	
---------	---	---------------------------	---

② 資料の資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	送料（予定）	発送開始日（予定）
大学案内	560782	215 円	令和8年7月上旬

③あとはガイダンスに従って必要事項を登録してください。

※（1）（2）に関する注意事項

- ・16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- ・通常は発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。
- ・発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。
- ・資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- ・随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達はありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- ・資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- ・料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、支払い時に別途必要です。

「テレメール」についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102（受付時間 9:30～18:00）

2 「モバっちょ」を利用して請求する

① 携帯電話、スマートフォン、パソコンからアクセスしてください。



URL : <https://djcmmbjpmyu3/>



② 資料名及び料金等

資料名	送料	発送開始日（予定）
大学案内	250 円	令和 8 年 7 月中旬

イ) 請求時払い：携帯電話、スマートフォン、クレジットカードで支払いができます。
(支払手数料は別途 50 円必要です。)

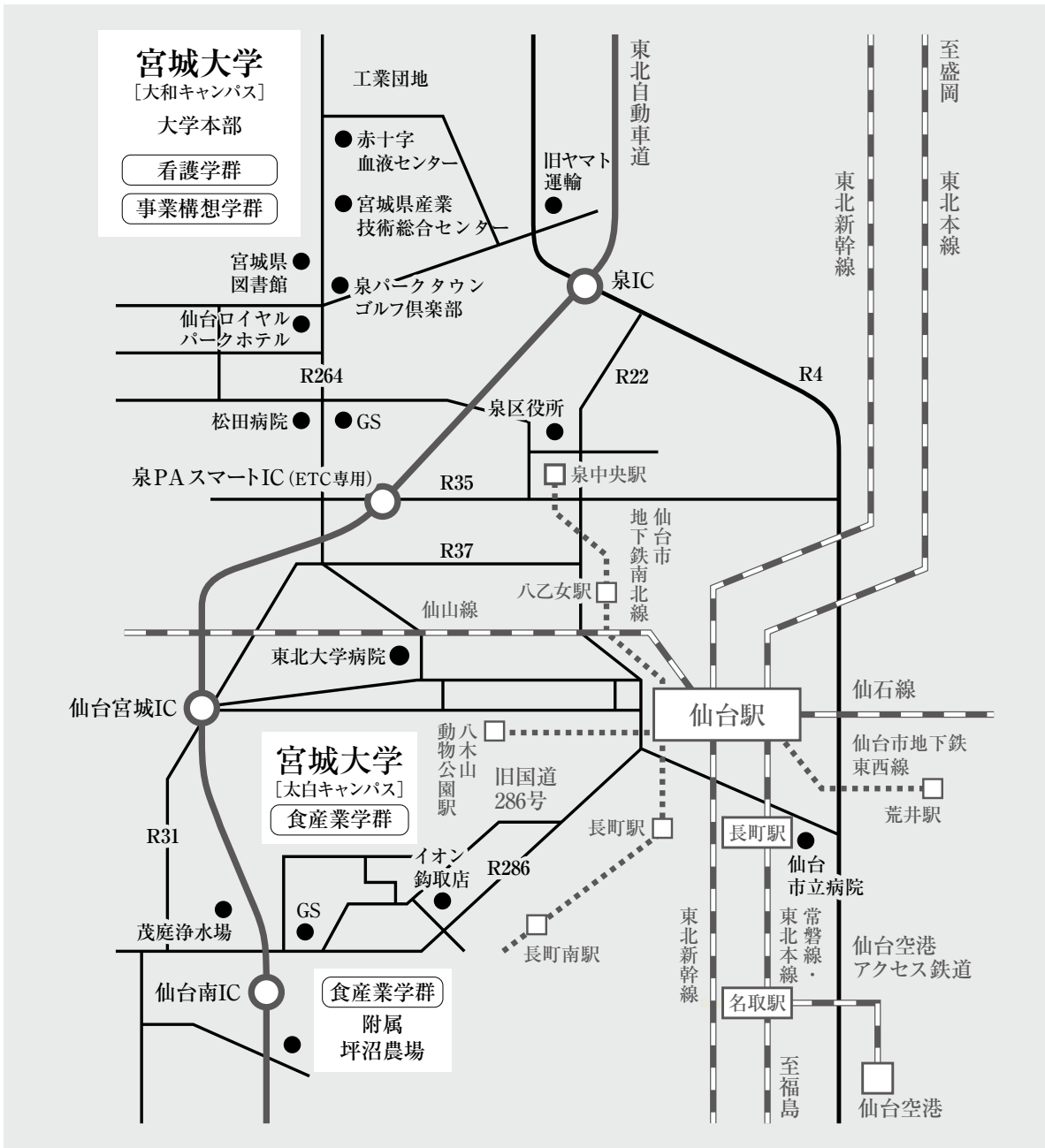
ロ) 後払い：資料到着後、コンビニエンスストアでお支払いください。
(支払手数料は別途 126 円必要です。)

※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合は「後払い」を選択してください。

「モバっちょ」についてのお問い合わせ先
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005（受付時間 平日 10:00 ～ 18:00）

XIII 各キャンパスの交通案内

※ 志望する学群のキャンパスが試験会場になるとは限りません。また、都合により変更する場合もありますので、試験会場については、必ず、各選抜の募集要項及びインターネット出願サイトからダウンロード可能になる受験票にて確認してください。



大和キャンパス |看護学群|事業構想学群|

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

●仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約15分、「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

●バス利用
「泉中央駅」バスプール3番又は6番から、宮城交通バス「泉パークタウン」行き(宮城大学経由)で約30分～35分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

「仙台駅西口」バスプール2番から、宮城交通バス「宮城大学」行きで約50分、「宮城大学・仙台総合医療大学校前」下車

太白キャンパス |食産業学群|

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号

●仙台市地下鉄
「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

●バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

アドミッション・ポリシー	XIV 令和 10 年度入学者選抜（令和 9 年度実施）の変更（予告）	
	概要	
	一般選抜	
	総合型選抜	
アドミッション・ポリシー	令和 10 年度入学者選抜（令和 9 年度実施）の変更については、令和 7 年 10 月 31 日、令和 8 年 3 月 30 日にウェブサイト上で予告した内容のとおりです。 このほかの変更内容については、令和 10 年度入学入学者選抜要項を確認してください。	
	第 1 報	
	令和 7 年 1 0 月 3 1 日	
	宮 城 大 学	
アドミッション・ポリシー	令和 10 年度入学者選抜に関する変更のお知らせ（予告）第 1 報	
	学校推薦型選抜	
	帰国生徒選抜	
	社会人選抜	
アドミッション・ポリシー	1. 総合型選抜 看護学群における総合型選抜を廃止します。	
	2. 私費外国人留学生入試 看護学群における募集人数について、次のとおり変更します。	
	令和 9 年度まで 5 人	
	令和 10 年度以降 若干名	
アドミッション・ポリシー	3. 学校推薦型選抜 (1) 募集人数 看護学群における募集人数について、次のとおり変更します。	
	令和 8 年度まで 24 人	
	令和 9 年度（※） 27 人	
	令和 10 年度以降 37 人	
アドミッション・ポリシー	※令和 7 年 1 0 月 3 1 日付「令和 9 年度入学者選抜に関する変更のお知らせ（予告）」による。	
	(2) 推薦人数 看護学群における推薦人数について、次のとおり変更します。	
	令和 9 年度まで 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは 1 校あたり 2 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは 1 校あたり 1 人	
	令和 10 年度以降 推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは 1 校あたり 4 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは 1 校あたり 2 人	
アドミッション・ポリシー	事前相談	
	大学案内の請求方法	
	交通案内	
	令和 10 年度入学者選抜の変更（予告）	

ただし、衛生看護科又は看護科を有する学校については、宮城県内の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から 2 人まで、その他の科から 2 人までの計 4 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から 1 人、その他の科から 1 人の計 2 人までを各々推薦できるものとします。	また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については 4 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については 2 人まで加えることができるものとします。
また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については 2 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については 1 人まで加えることができるものとします。	この場合にあっても、当該廃止した高等学校が衛生看護科又は看護科を有する場合、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については当該科から 2 人まで、その他の科から 2 人までの計 4 人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については当該科から 1 人、その他の科から 1 人の計 2 人までを各々推薦できるものとします。

以上

アドミッション・ポリシー	概要	
	一般選抜	
	総合型選抜	
	学校推薦型選抜	
アドミッション・ポリシー	帰国生徒選抜	
	社会人選抜	
	私費外国人留学生入試	
	事前相談	
アドミッション・ポリシー	大学案内の請求方法	
	交通案内	
	令和 10 年度入学者選抜の変更（予告）	

第2報

概要

令和8年3月30日

宮城大学

令和10年度入学者選抜に関する変更のお知らせ（予告）第2報

本学では、令和10年度入学者選抜より、事業構想学群の総合型選抜について選抜方法等を次のとおり変更します。

本予告は現時点での情報をお知らせするものであり、今後変更が生じた場合、その他各選抜方法等に変更が生じる場合は、随時、本学公式ウェブサイト等で公表します。出願を検討される際は、必ず該当年度の募集要項をご確認ください。

総合型選抜：事業構想学群

	令和9年度	令和10年度
選抜方法等	第1次選考：調査書及び出願書類（※1）の内容を総合的に判定して行います。	第1次選考：調査書及び出願書類（※1）の内容を総合的に判定して行います。
	第2次選考：第1次選考に合格した者に対し面接を実施し、第1次選考及び面接の成績を総合的に判定して行います。	第2次選考：第1次選考に合格した者に対し「探究・論述（※2）」及び面接の試験を実施し、第1次選考及び第2次選考の成績を総合的に判定して行います。

（※1）出願書類については、次のような書類を予定しています。

- ・自己推薦、学修計画に関する資料として「自己申告書」
- ・高等学校までの学習や活動の履歴に関する報告書として、「探究活動報告書」

（※2）「探究・論述」は、提示された資料を読み解き、これまでの学習や探究活動で身につけた知識や読解力・思考力・表現力を活かして、自らの考えを論理的に展開する筆記試験です。

学校推薦型選抜

帰国生徒選抜

社会人選抜

私費外国人留学生入試

事前相談

大学案内の請求方法

交通案内

入学者選抜に関する問い合わせ

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1
宮城大学 アドミッションセンター
TEL:022-377-8333 / FAX:022-377-8282